PASSION FOR THE BEST

個人投資家の皆さまへ

大和証券グループの経営戦略

2022年9月

株式会社大和証券グループ本社（証券コード：8601）
執行役社長 CEO　中田　誠司

Daiwa Securities Group Inc.

本資料は、2022年度第1四半期までの業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2022年9月14日現在で公表可能な情報に基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

目 次

1. 大和証券グループの概要・・・・ 3
2. 中期経営計画
   ”Passion for the Best“ 2023 概要・・・・ 7
3. 個別戦略・・・・ 11
4. サステナビリティ・・・・ 28
5. 株主還元・・・・ 32

参考資料・・・・ 39

1. 大和証券グループの概要

Daiwa Securities Group Inc.

大和証券グループのあゆみ

PASSION FOR THE BEST

1902年の創業以来、**120年の歴史の中で培ったDNA**

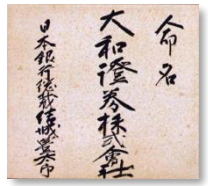
＝ 時代の先を行く先進的な取組みにより、資本市場の発展に貢献

創業120年

1902 創業

・藤本ビルブローカー設立
(※ビルブローカー：手形仲買人の意)

1917
・日本初の外国公債を販売

1943 大和證券設立


1956
・大和証券投資信託委託設立
・ニューヨーク進出

1959
・東京都千代田区呉服橋に本店ビルを新築、移転

1961 二部上場

・三市場第二部

1964
・ロンドン進出

1970 一部上場


1986
・大和総研設立

1989 インターネット取引開始

1996

1998 企業理念の制定

1999 持株会社体制移行

・大和証券グループ本社、大和証券、大和証券SBCM*設立
(*後に大和証券SMBC)

2007
・本社を「グラントウキョウノースタワー」に移転

2008 大和スピリットの策定

2011
・Sagent AdvisorsとSignal Hillを買収
(現DC Advisory)
・大和ネクスト銀行設立

2012 新大和証券設立

2016
・ミャンマー証券取引センター開業

2017
・大和エナジー・インフラ、大和フード&アグリ設立

2018

2020
・CONNECT開業

2022

藤本ビルブローカー → **大和證券** → **分社時代** → **“新”大和証券**

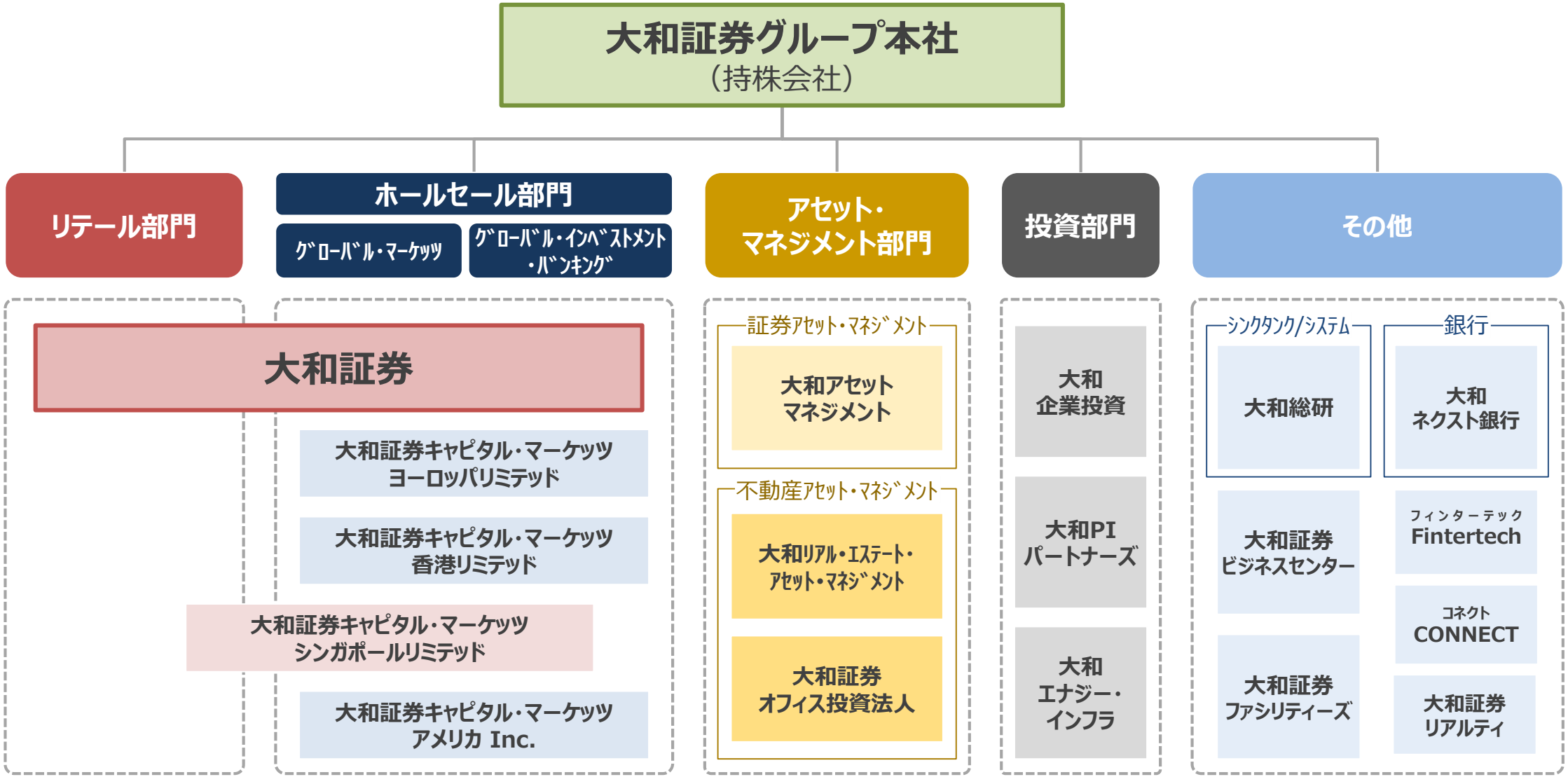
明治 **大正** **昭和** **平成** **令和**

■ 1986年(昭和61年) **日本初のパソコンによるホームトレードサービス**を開始

■ 1999年(平成11年) **日本の上場会社初の持ち株会社**大和証券グループ本社を発足

主要会社構成

PASSION FOR THE BEST



数字で見る大和証券グループ

PASSION FOR THE BEST

国内店舗数

181店舗



預り資産（大和証券）

72.8兆円

従業員数*1

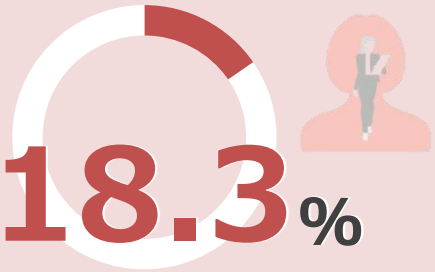
15,419人

CFP認定者数

1,325名

業界No.1*2

女性管理職比率*4



18.3%

グローバル拠点所在地

世界24カ国・地域



就職ブランドランキング*3

総合順位 3位



時価総額

約9,510億円

※2022年6月末時点　*1 連結グループ会社の合計数値　*2 日本FP協会発表値に基づく（国内保険・金融業界における認定者数）順位：2022年3月時点、認定者数：2022年6月末時点
*3　文化放送キャリアパートナーズ就職情報研究所「就職ブランドランキング」 2023年卒・後半　*4　2022年3月末時点

2. 中期経営計画 ”Passion for the Best“ 2023 概要

Daiwa Securities Group Inc.

中期経営計画の位置づけ

2030年に目指す姿として、経営ビジョン「2030Vision」を策定
その達成に向けた当初3年間の戦略が、中期経営計画“Passion for the Best” 2023

中期経営計画の位置づけ

ミッション

ミッション　金融・資本市場を通じて社会及び経済の発展に資する

企業理念	信頼の構築	人材の重視	社会への貢献	健全な利益の確保

経営ビジョン「2030Vision」

ありたい姿/目指す姿　貯蓄からSDGsへ ～資金循環の仕組みづくりを通じたSDGsの実現～



人生100年時代　イノベーション　グリーン＆ソーシャル　ダイバーシティ＆インクルージョン　サステナブル経営の基盤

中期経営計画“Passion for the Best” 2023

あるべき姿　全てのステークホルダーの価値・効用の最大化

基本方針



クライアントファーストとクオリティNo.1の実現



ハイブリッド戦略による新たな資金循環の確立



デジタルとリアルのベストミックスの追求

スローガン・基本方針

2021-2023年度

中期経営計画
“Passion for the Best” 2023

未来を共に創るベストパートナー
～Be with you～

基本方針

クライアントファーストと
クオリティNo.1の実現

ハイブリッド戦略による
新たな資金循環の確立

デジタルとリアルのベストミックスの追求

サステナビリティへの取組み

コーポレート戦略
財務・資本/リスクマネジメント/コンプライアンス/人事/海外

2023年度数値目標

財務・非財務KPIを設定
資産管理型ビジネス、ハイブリッド戦略の進捗に関するKPIを追加

KPIおよび各KPIに関連する重点分野（2023年度達成目標）

	業績	資産管理型ビジネス	ハイブリッド戦略	財務基盤
財務KPI	**ROE** 10%以上 (2021年度：7.0%) **経常利益** 2,000億円以上 (2021年度：1,358億円)	**リテール部門** **残高ベース収益比率** 50%以上 *1	**ハイブリッド関連** **経常利益** 500億円以上 **ハイブリッド関連** **経常利益比率** 25%程度	**連結総自己資本** **規制比率** 18%以上維持

	人材	資産管理型ビジネス	サステナビリティ	
非財務KPI	**デジタルIT人材** 200名以上 **CFP/証券アナリスト** **資格取得者数** 3,000名以上	**大和証券預り資産** 90兆円以上	**女性取締役比率** **女性管理職比率** **従業員満足度** **SDGs関連ビジネス投資残高** **SDGs債リーグテーブル** **応援定期預金残高**	30%以上*2 25%以上*3 80%以上維持 1,500億円以上 3位以内 2,000億円以上

人生100年時代　イノベーション　グリーン＆ソーシャル　ダイバーシティ＆インクルージョン　サステナブル経営の基盤

*1　2023年度第4四半期　　*2　2030年までに　　*3　2025年度

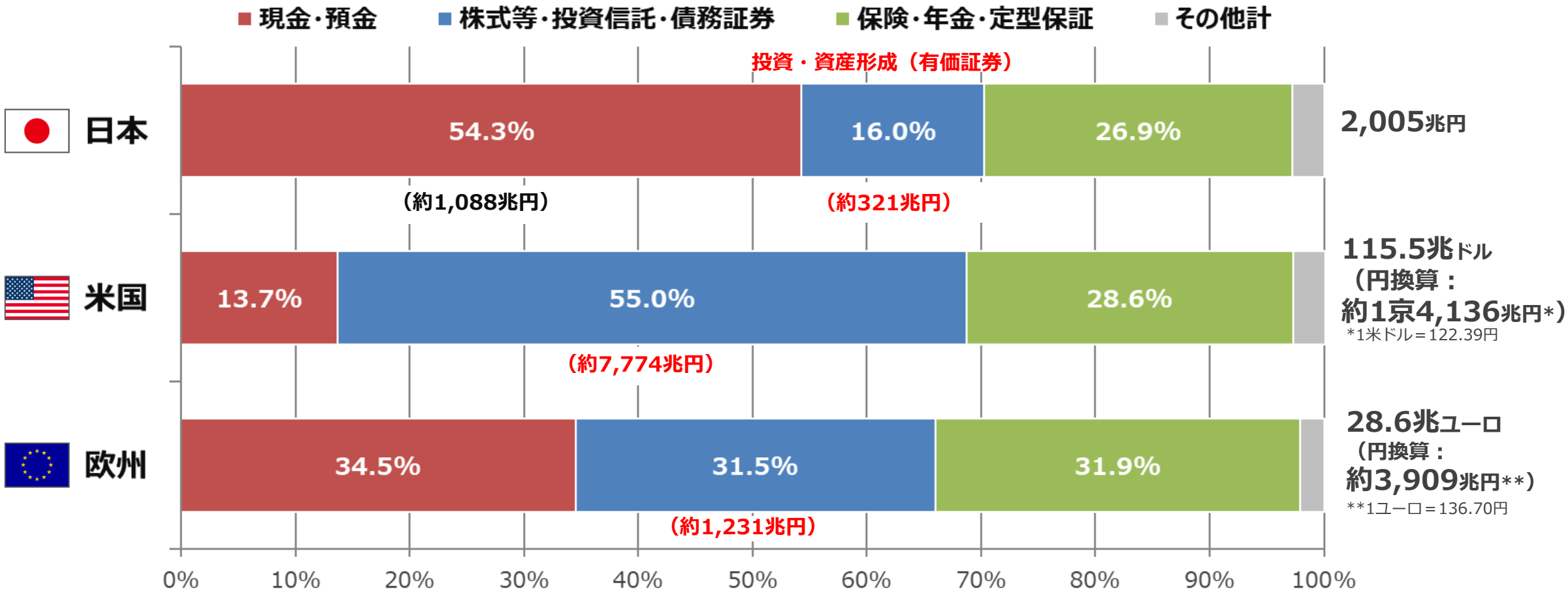
3. 個別戦略

Daiwa Securities Group Inc.

リテール部門：マーケットポテンシャル

個人金融資産の5割以上が未だに現預金として眠っている状況

家計の金融資産の状況（日・米・欧）



（出所）　日本銀行（2022年3月末時点）　為替レートは2022年3月31日時点のTTMで算出。
※　「その他計」は、金融資産合計から、「現金・預金」、「株式等」、「投資信託」、「債務証券」、「保険・年金・定型保証」を控除した残差

リテール部門：お客様の最善の利益追求に向けた取組み

PASSION FOR THE BEST

お客様の最善の利益を追求し、資産管理型ビジネスモデルの深化を図る

～2021年度 → 2022年度 → 2023年度

大和版NPS®を原動力とした営業改革

達成

テーマ①：総資産アプローチによる顧客資産・取引の拡大

- ✓異業種が模倣できない高度なソリューション提供
- ✓資産運用プランニングツールを活用した積極提案
- ✓顧客プロファイルの収集によるお客様意向の把握

テーマ②：ストック関連資産残高拡大

- ✓ラップ残高の拡大
- ✓投信フレックスプランを含む株式投信の残高の拡大
- ✓外貨預金残高の拡大

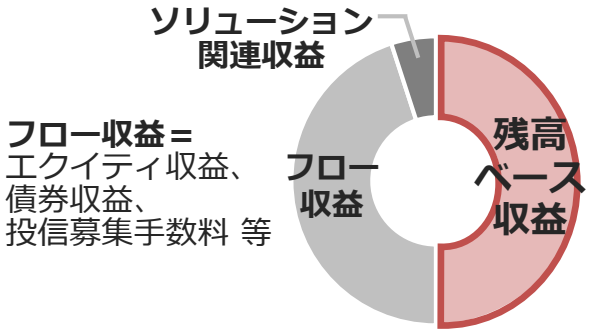
テーマ③：外部連携によるお客様接点の拡大

- ✓外部連携による幅広いお客様との接点の拡大

残高ベース収益
920億円

残高ベース収益比率
50%(4Q)

残高ベース収益の固定費カバー率
100%(4Q)



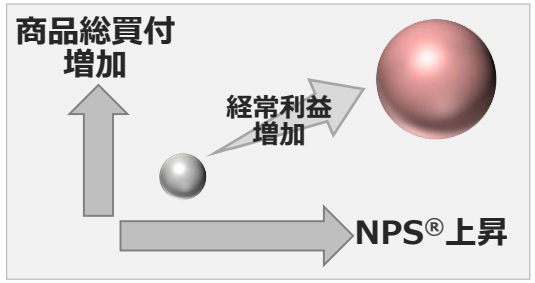
残高ベース収益＝
投信代理事務手数料、投資顧問料・取引等管理料、
銀行代理店報酬、投信フレックスプラン残高手数料　等

注： NPS®は、ベイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、サトメトリックス・システムズの登録商標です。

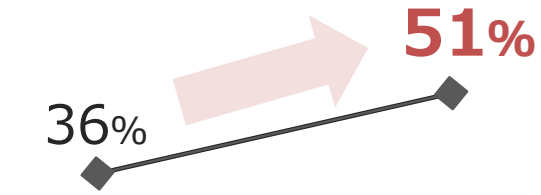
リテール部門①：NPSとお客様基盤拡大の好循環

NPS 向上への取組み → **お客さま満足度向上による既存のお客様との取引拡大** → **既存のお客さまからの新規のお客様の紹介による取引拡大**

NPS と商品買付額の関係



新規口座に占める紹介比率*1



NPS：お客様の推奨度を測る指標

*1 ダイワコンサルティングコース、専任担当者あり、個人が対象

リテール部門②：資産運用プランニングツール

ダイワの フューチャー・デザイナー 未来のカルテ

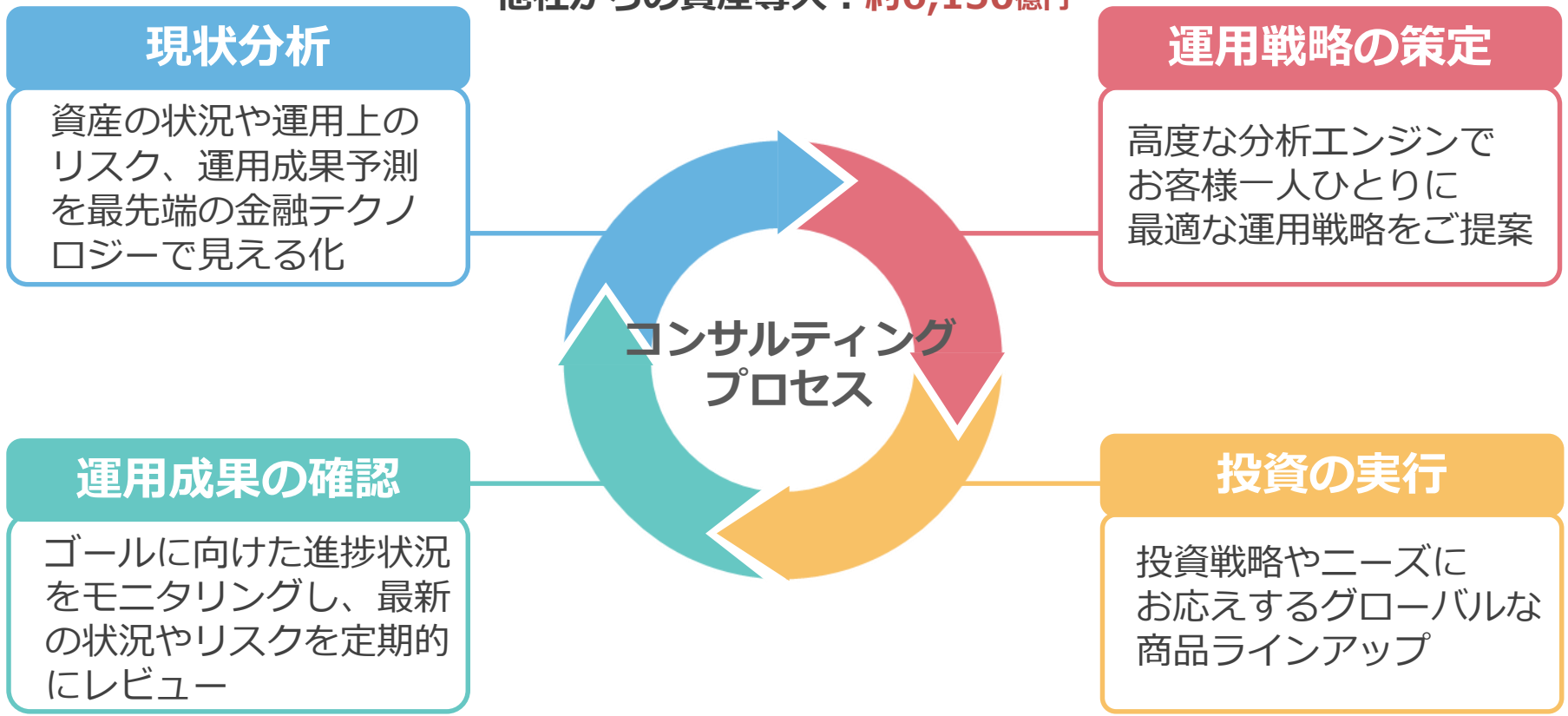
PASSION FOR THE BEST

他社資産を含めた包括的な資産運用コンサルティング実現のためのツールを導入

現状分析・運用戦略の策定・運用成果の確認・投資実行など、あらゆるシーンでお客様をサポート

分析実績(累計)：約21兆円

他社からの資産導入：約6,150億円



(6月末時点)

リテール部門③：投信フレックスプラン

マーケット環境の変動に応じて機動的に銘柄のリバランスや売買できる点が評価され販売が拡大

- ✓ 銘柄ごとに１注文当たり**1,000万円以上**
- ✓ 購入時手数料は**無料**
- ✓ 残高フィーを後払い（最大年率0.99%・税込、残高に応じて逓減）

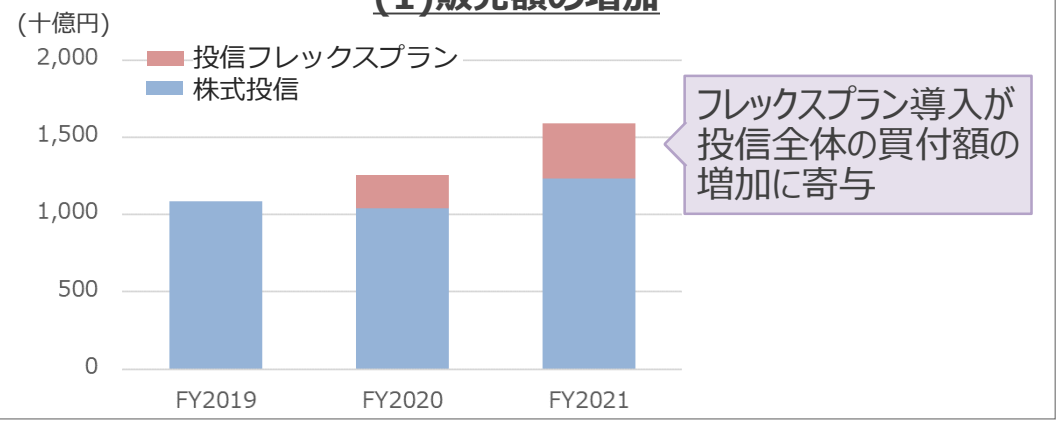


お客様

投信フレックスプラン(2020.10導入)	手数料体系	従来型：購入時手数料
相場環境を見て機動的に売買	ニーズ	長期保有

投信販売全体への波及効果

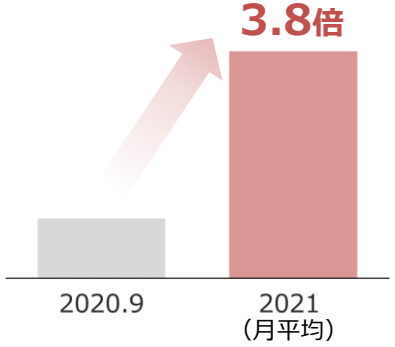
(1)販売額の増加



フレックスプラン導入が投信全体の買付額の増加に寄与

(2)大口取引件数の増加

2,000万円以上の取引件数



投信フレックスプランの利用者



投資経験が豊富なお客様に訴求



新たなお客様に訴求

投信フレックスプランが選ばれる理由

コモディティの資産クラスの投信買い付けもタイムリーに行えた

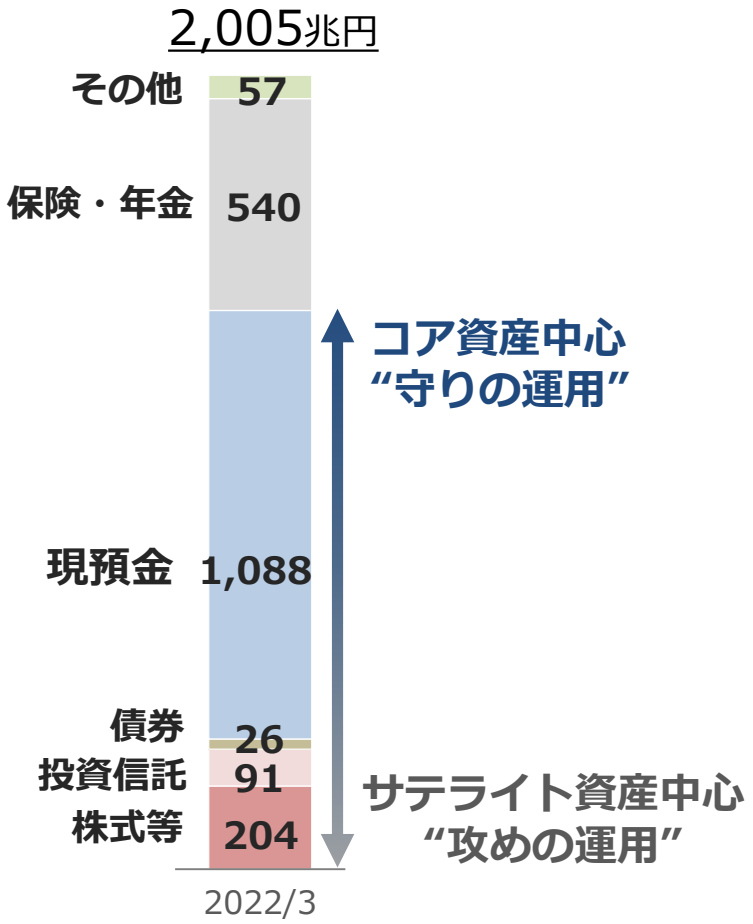
グロース型中心からバリュー型も含めた銘柄分散が柔軟にできた

（営業員へのヒアリングによる）

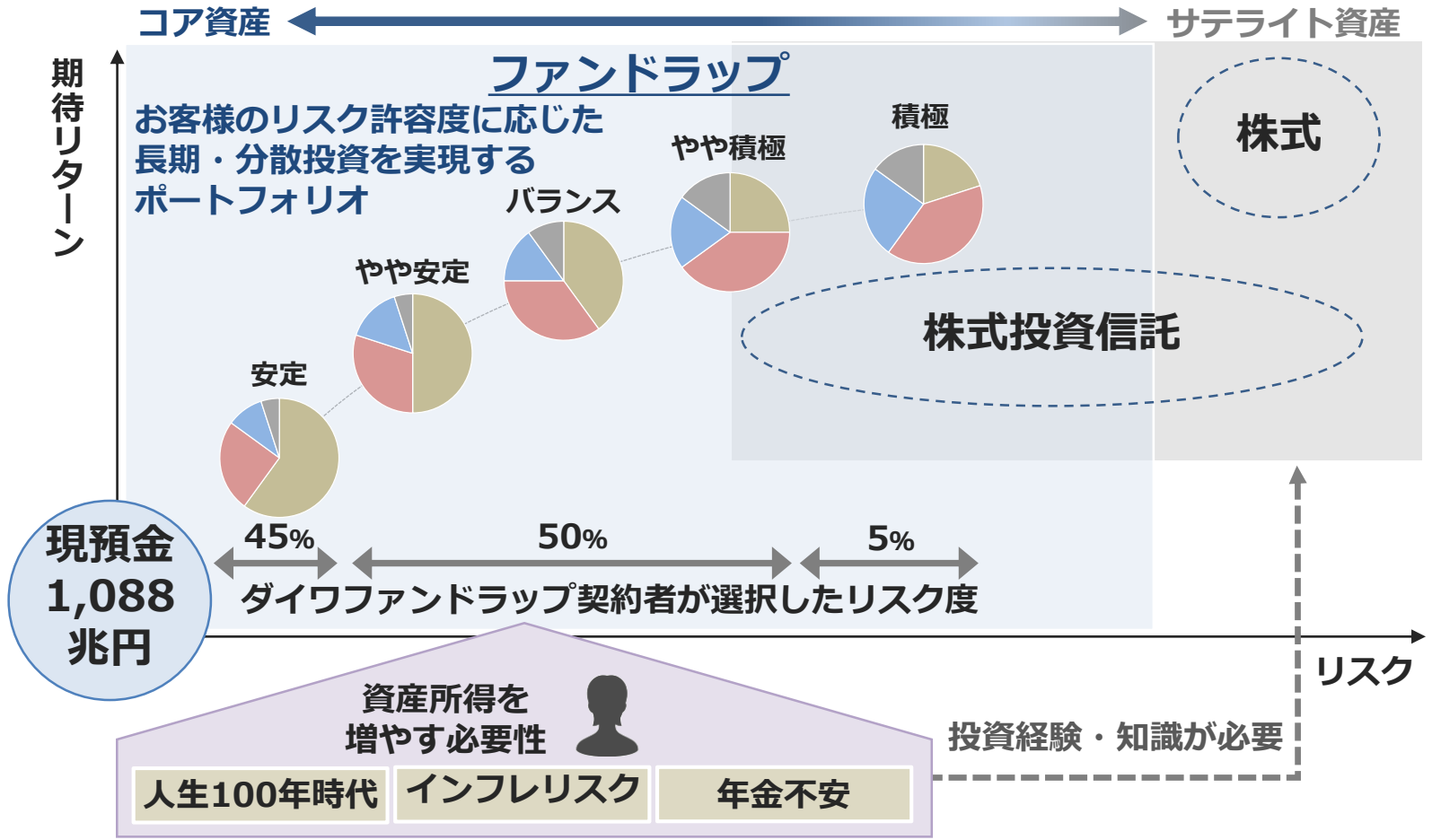
リテール部門④：ファンドラップのポテンシャル

インフレに対する資産保全および人生100年時代への対応として、現預金に眠る1,088兆円からの資金シフトが起きる可能性がある

個人金融資産の構成



ファンドラップはコア資産の受け皿へ



コア資産 … 資産運用の中心として長期・安定して保有する資産
サテライト資産 … リスクをとってリターンを狙う資産

リテール部門⑤：外部連携を通じたお客様基盤の飛躍的拡大

PASSION FOR THE BEST

大和証券 ～証券プラットフォーム～ × **外部パートナー** ～強固なお客様基盤～ = **金融プラットフォーマー** ～お客様基盤の飛躍的拡大～

顧客基盤

外部金融機関との連携

資産形成層の獲得

2019.5 2022年5月9日開始
日本郵政グループとの
ファンドラップでの協業
日本郵政 / ゆうちょ銀行
貯金残高 **193兆円** *1

2020.3 順次拡大
信金中央金庫との
金融商品仲介
信金中央金庫
信金預金量合計 **161.3兆円** *2

2022.5 2022年5月23日開始
多摩信用金庫による
「しんきんファンドラップ」取扱開始
多摩信用金庫

2022.2 順次拡大
NTTドコモとの
dポイントサービスでの提携
CONNECT × d POINT

2018.8～ 順次拡大
地域金融機関への
ダイワファンドラップ提供

2021.9 2023年4月予定
四国銀行との
新たな協業の基本合意
四国銀行

2022.3 順次拡大
京都銀行との資産形成サービスの提供
CONNECT × 京都銀行

2021.9 順次拡大
三菱UFJ銀行との
資産形成ビジネスでの協業
CONNECT × MUFG 三菱UFJ銀行

2004～ 継続
地域金融機関
との金融商品仲介

2019.9 順次拡大
CREDIT SAISON **クレディセゾン**との
資本業務提携

2020.7 順次拡大
CONNECT
CONNECT開業、
ポイント運用サービス
「StockPoint for CONNECT」提供

2020.10 継続
資産形成層を中心に
2,500万人の会員を有する
クレディセゾンとの
金融商品仲介
CONNECT × CREDIT SAISON

年

*1 2022年3月末時点 *2 2022年5月末時点。預金残高は信用金庫の全体の預金額合計金額。（出所）信金中金 地域・中小企業研究所、信用金庫統計

ゆうちょ銀行でのファンドラップの販売開始

2022年5月「ゆうちょファンドラップ」のサービスを開始
ライフステージに合わせて最適なポートフォリオを提案

ゆうちょ銀行

大和証券 Daiwa Securities

強固なお客様基盤

全国	営業員	口座数	貯金残高*1	投信純資産残高*1
233拠点（直営店）	約1,600名	1.2億口座	193兆円	2.59兆円

分かりやすい商品設計

ゆうちょファンドラップ

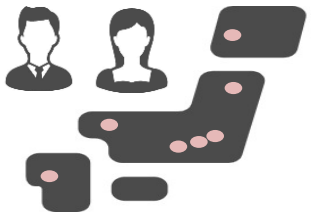
- 取扱開始　2022年5月9日
- 対面のゆうちょ銀行直営店で取扱い
- 契約金額 300万円以上1万円単位
- ラップフィー　1.54%（年率・税込）

✓ 運用スタイル数は最大100
✓ 組み入れファンドがインデックスのみで低手数料率を実現（組み入れファンドの信託報酬は最大で年間0.1298%）
✓ 年齢に応じて運用スタイルを切り替えていく“グライドパス”を採用
✓ 定期受取サービス、定期積立サービスなど充実の付帯サービス

大和証券の販売サポート体制

- お客様向けセミナー
- 販売員向け研修
- 販売員からの問合せ対応
- お客様からの問合せ対応

サポート専任部署
全国7拠点
40名でスタート



コンタクトセンター



*1　2022年3月末時点

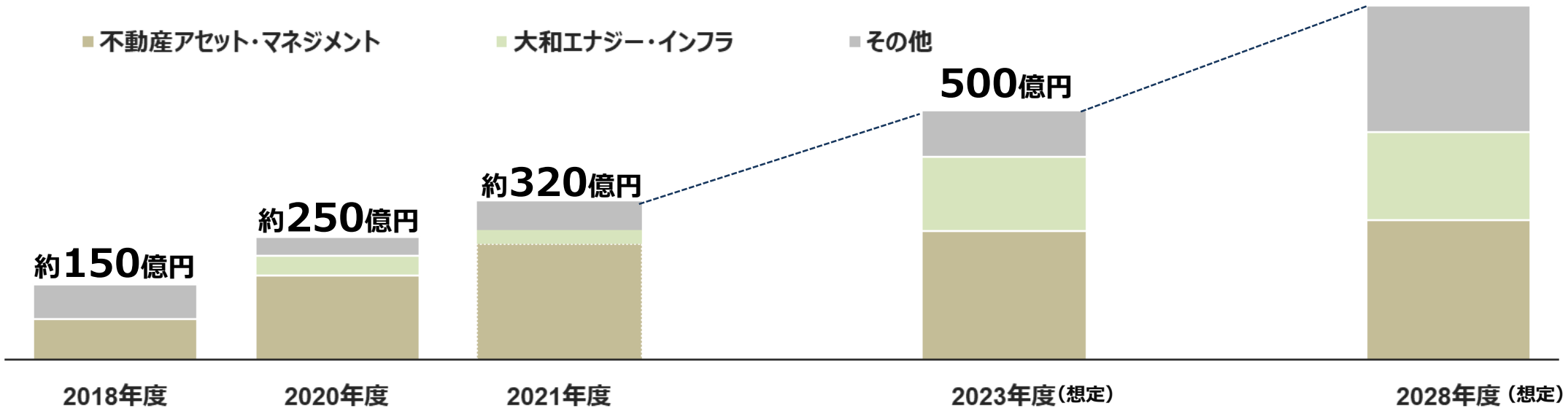
グループにおけるハイブリッドビジネスの位置づけ

PASSION FOR THE BEST

不動産アセット・マネジメント、大和エナジー・インフラ（DEI）を中心に収益を拡大し、2023年度にハイブリッド関連経常利益500億円以上を目指す

ハイブリッド戦略 ＝ 収益源の多様化 × 証券業とのシナジー拡大

ハイブリッド経常利益



ハイブリッド比率（ハイブリッド経常利益/連結経常利益）			
18%	21%	23%	25%

＊大和証券オフィス投資法人の連結子会社化による影響含む　＊ハイブリッド事業の利益見通しはそれぞれの利益想定のベースシナリオに基づく

グループにおけるハイブリッドビジネスの位置づけ

PASSION FOR THE BEST

ハイブリッドビジネスと証券業における収益の相関性は相対的に低い一方、高いシナジーが期待される

ハイブリッド戦略 ＝ **収益源の多様化** × **証券業とのシナジー拡大**

証券業と低い相関関係

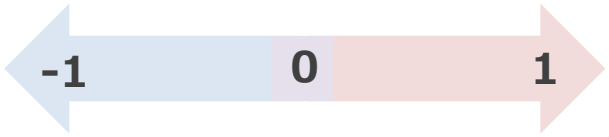
会社名	類似業種	証券業との相関係数
不動産アセット・マネジメント※	不動産業	0.5
大和エナジー・インフラ	電力業	0.07

（出所）
財務省「法人企業統計」より大和証券グループ本社算出。全法人、単体決算の数値を使用（期間：2008年度-2020年度）

「相関係数」とは？

・２つの数字の関係性の強さを－１～１で表記したもの。

<イメージ図>



証券業と高いシナジー

ハイブリッド事業のアセットを対象とした商品を供給

更なるお客さま満足度の向上へ

No.1 お客様ニーズに基づいた総資産アプローチ

シナジー（例）

- REIT PO/IPO募集販売
- 不動産小口化商品の提供
- 再生可能エネルギーファンドの提供

※大和リアル・エステート・アセット・マネジメント、大和証券オフィス投資法人等

不動産AM関連ビジネス：運用資産の多様化・拡大

PASSION FOR THE BEST

安定的な収益拡大に向けた運用資産の多様化・拡大を継続

2009年
オフィス



2014年
ヘルスケア施設



2020年
物流施設



運用対象資産の拡大

2013年
住宅



2018年
ホテル

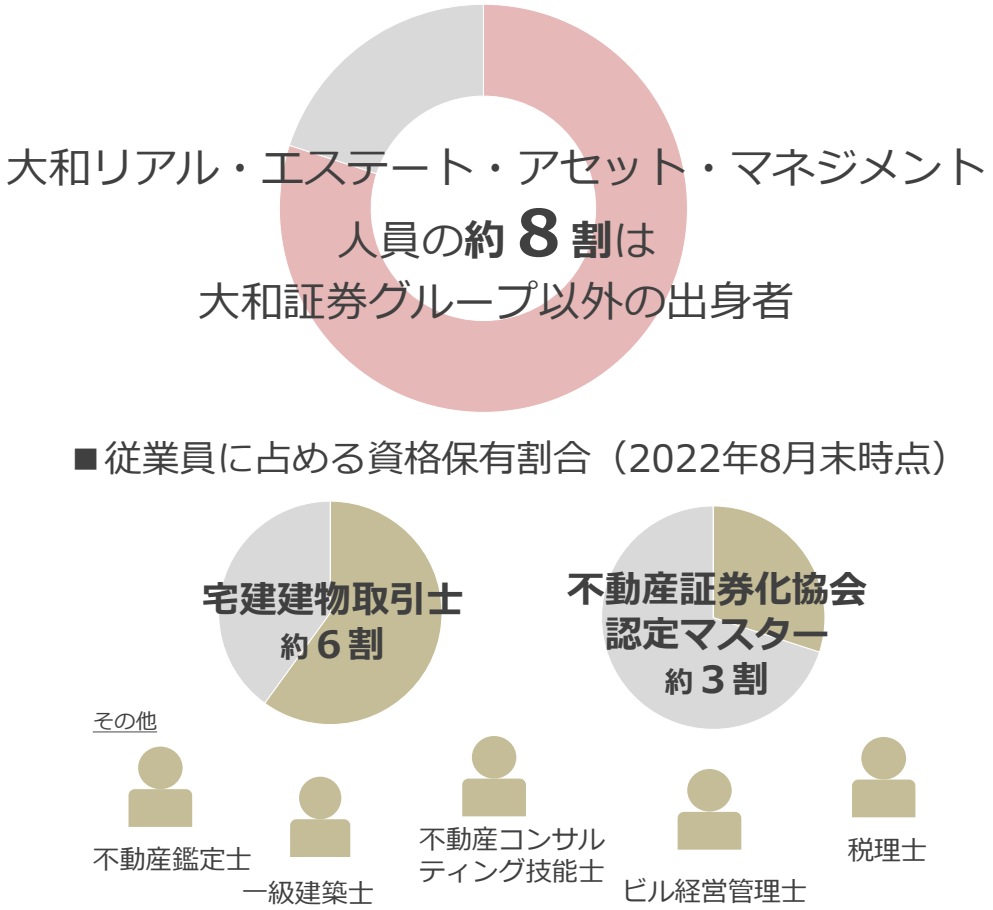


不動産AM関連ビジネス：プロフェッショナル人材・事業目標

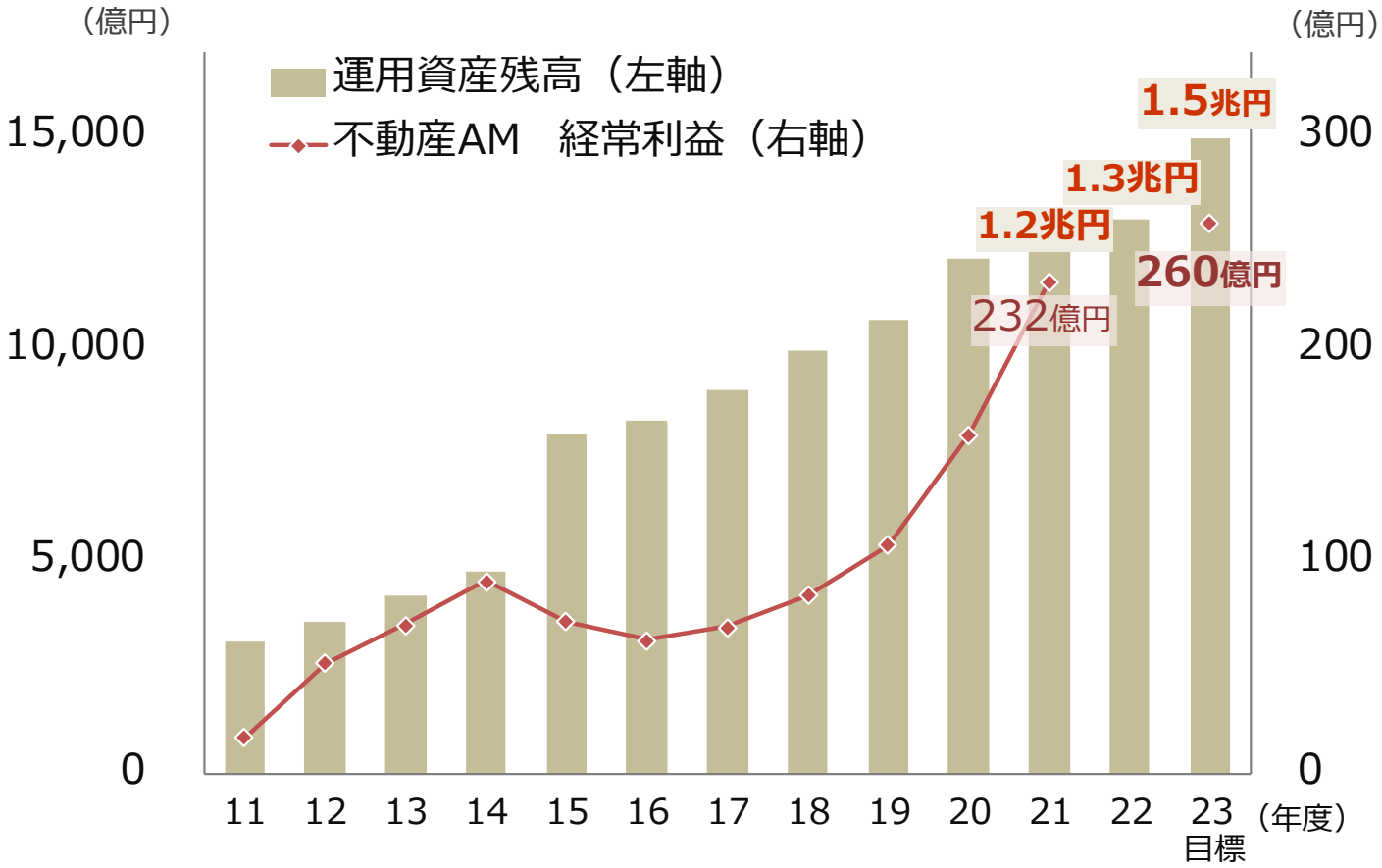
PASSION FOR THE BEST

2023年度の運用資産残高目標は1.5兆円、経常利益目標の260億円
着実な運用と成長に向けた取組みにより運用資産残高拡大を目指す

プロフェッショナル人材



運用資産残高・経常利益推移*



* 不動産AMの経常利益およびサムティグループへの出資による利益の合計

リテール部門とのコラボレーション

PASSION FOR THE BEST

ハイブリッド戦略で拡大した事業領域のアセットを金融商品化し、多様化したお客様ニーズに最適な商品・サービス・ソリューションを提供

リテール向け不動産小口化商品

■2021年4月にリテール向け不動産小口化商品の組成・販売を行う大和証券リアルティを設立



大和エナジー・インフラ：再生可能エネルギー分野における取組み

PASSION FOR THE BEST

太陽光発電など、クリーンな電源の供給を通じて社会課題の解決を目指す

再生可能エネルギー 主な投資実績（国内）



バイオマス発電（山形県米沢市）



太陽光発電（北海道白老町）



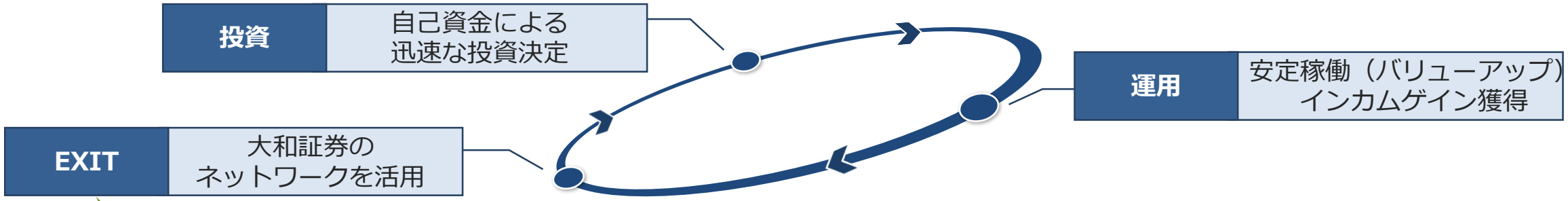
太陽光発電（熊本県大津町）

大和エナジー・インフラ：キャピタル・リサイクリングモデル

PASSION FOR THE BEST

投資案件の積み上げに取り組み、安定稼働後にアセットをファンドなどに売却する、キャピタル・リサイクリングモデルを進め、資本効率向上を目指す

資本効率を重視した循環的拡大 (キャピタル・リサイクリングモデル)

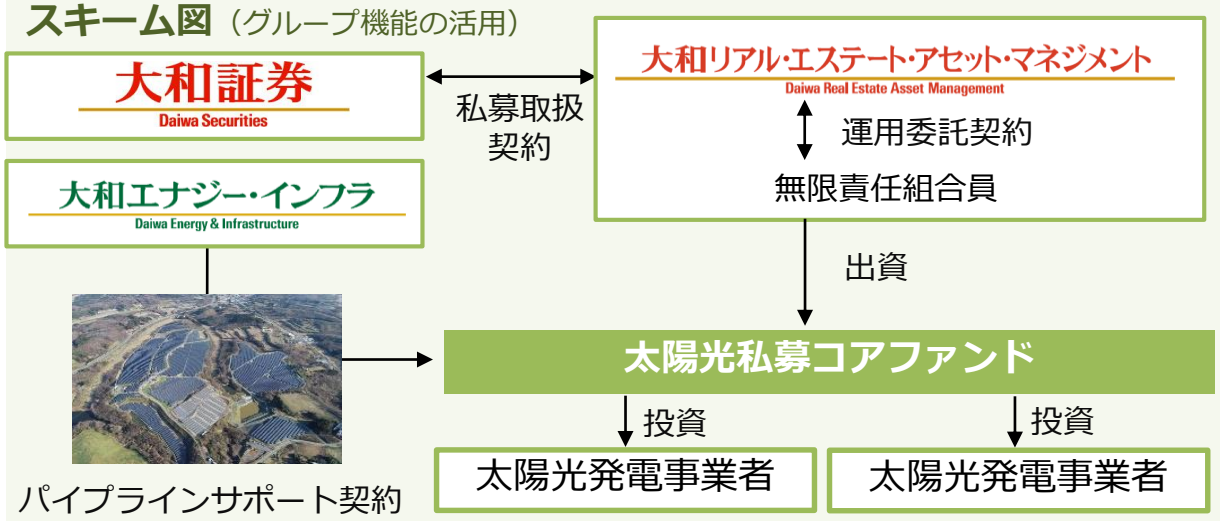


太陽光私募コアファンドの組成（2021/9運用開始）

■ ポートフォリオのファンド化を通じた外部資本導入により、限られた資本を有効活用した循環的拡大を目指す

投資対象	ブラウンフィールド（稼働済）の太陽光発電事業
アセット総額	700億円規模（ファンド総額：約160億円）
投資家	国内の機関投資家（年金基金、生命保険会社等）

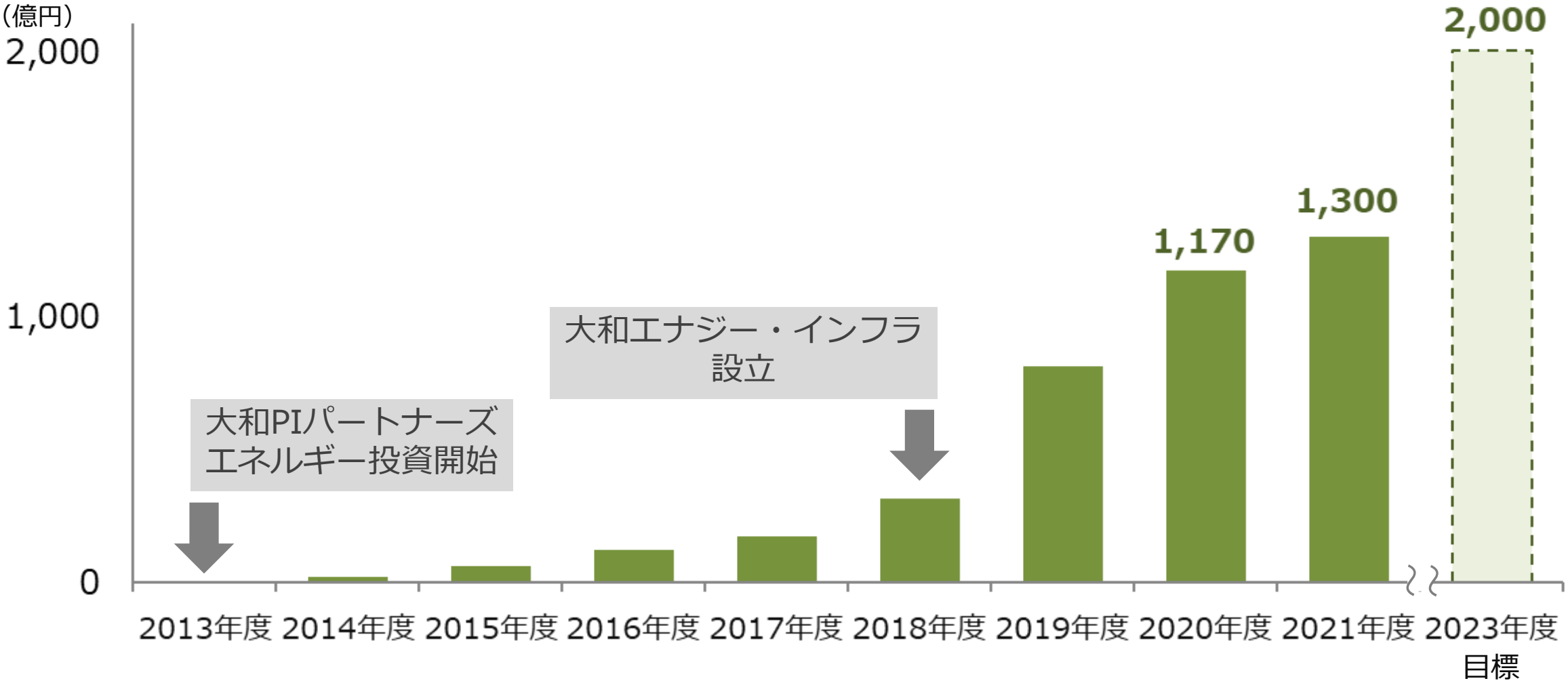
スキーム図（グループ機能の活用）



大和エナジー・インフラ：投資残高の推移

PASSION FOR THE BEST

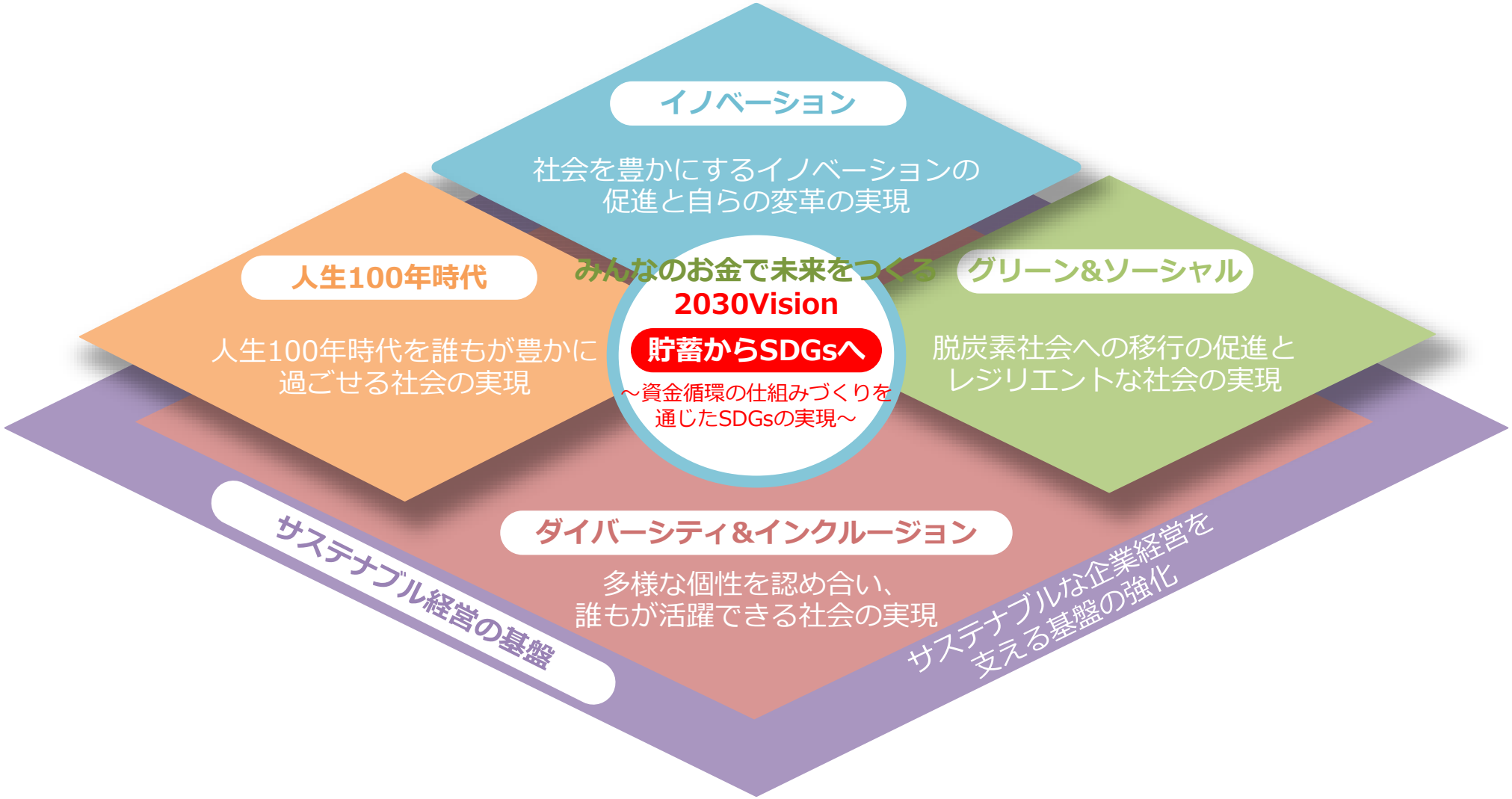
中長期の運用資産残高目標3,000億円を向けて投資対象を拡大
2021年度末時点で1,300億円の投資残高を積み上げ



4. サステナビリティ

Daiwa Securities Group Inc.

「2030Vision」におけるマテリアリティ



カーボンニュートラル宣言

PASSION FOR THE BEST

大和証券グループ カーボンニュートラル宣言

1. 2030年までの自社の温室効果ガス排出量（Scope1･2）ネットゼロ
2. 2050年までの投融資ポートフォリオの温室効果ガス排出量等（Scope3）ネットゼロ
3. 金融ビジネスを通じた脱炭素社会へのスムーズな移行の支援

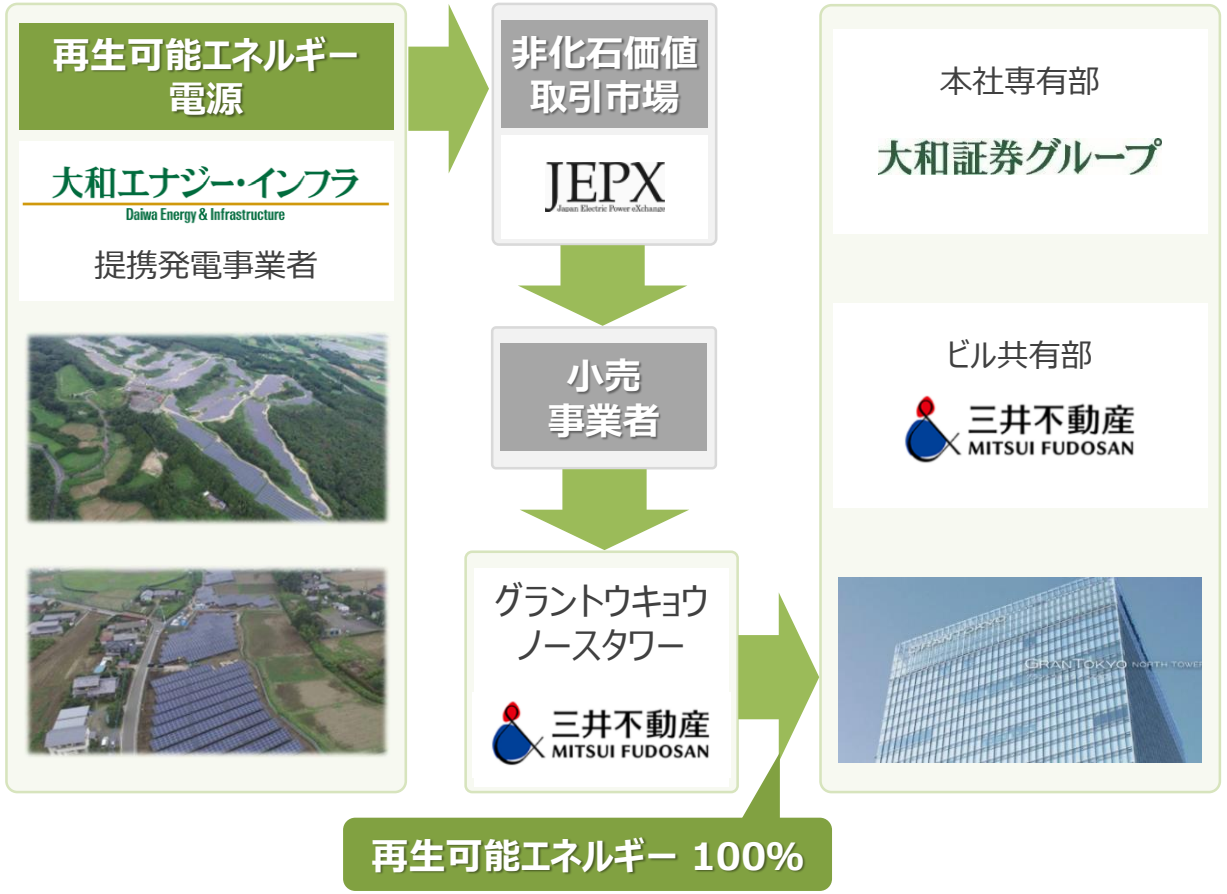
主な重点方針

ファイナンスを通じた脱炭素社会実現	脱炭素社会実現に貢献する新技術の支援・ソリューションビジネスの推進	脱炭素社会実現に資する投資機会の提供
自社の環境負荷低減	パリ協定と整合的な目標設定と透明性のある情報開示	グループ推進体制の強化

カーボンニュートラル宣言：事例紹介

本社ビルの電力を自社グループの再エネ発電由来へ切替え

- 2021年度より、本社ビルの再エネ化を実施



航空業界として世界初のトランジションボンド発行支援

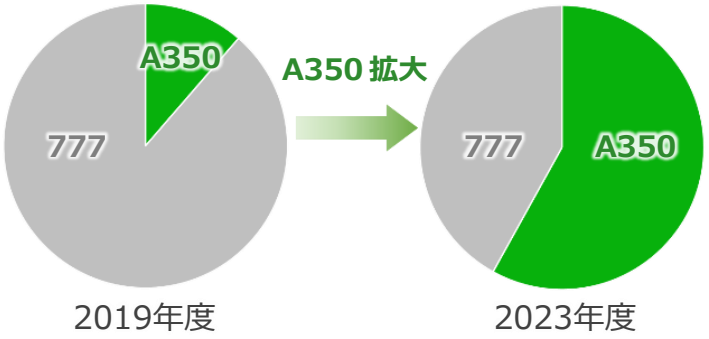
2050年までにCO_2排出量ネットゼロの達成を目指す

- 日本航空の「省燃費機材への更新」に伴う資金調達を支援
- 従来機と比較して排出量を15-25%削減可能な機体を導入

省燃費機材への更新によりトランジションを推進



AIRBUS A350
JAL GREEN



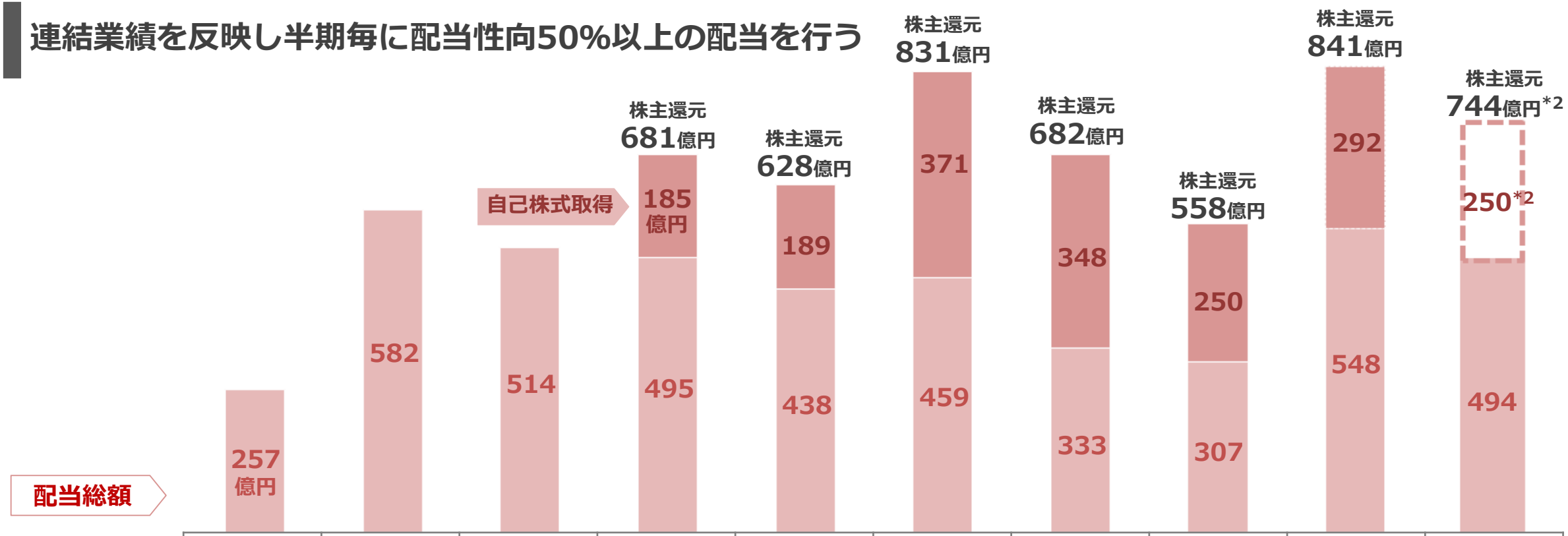
5. 株主還元

Daiwa Securities Group Inc.

株主還元の方針

PASSION FOR THE BEST

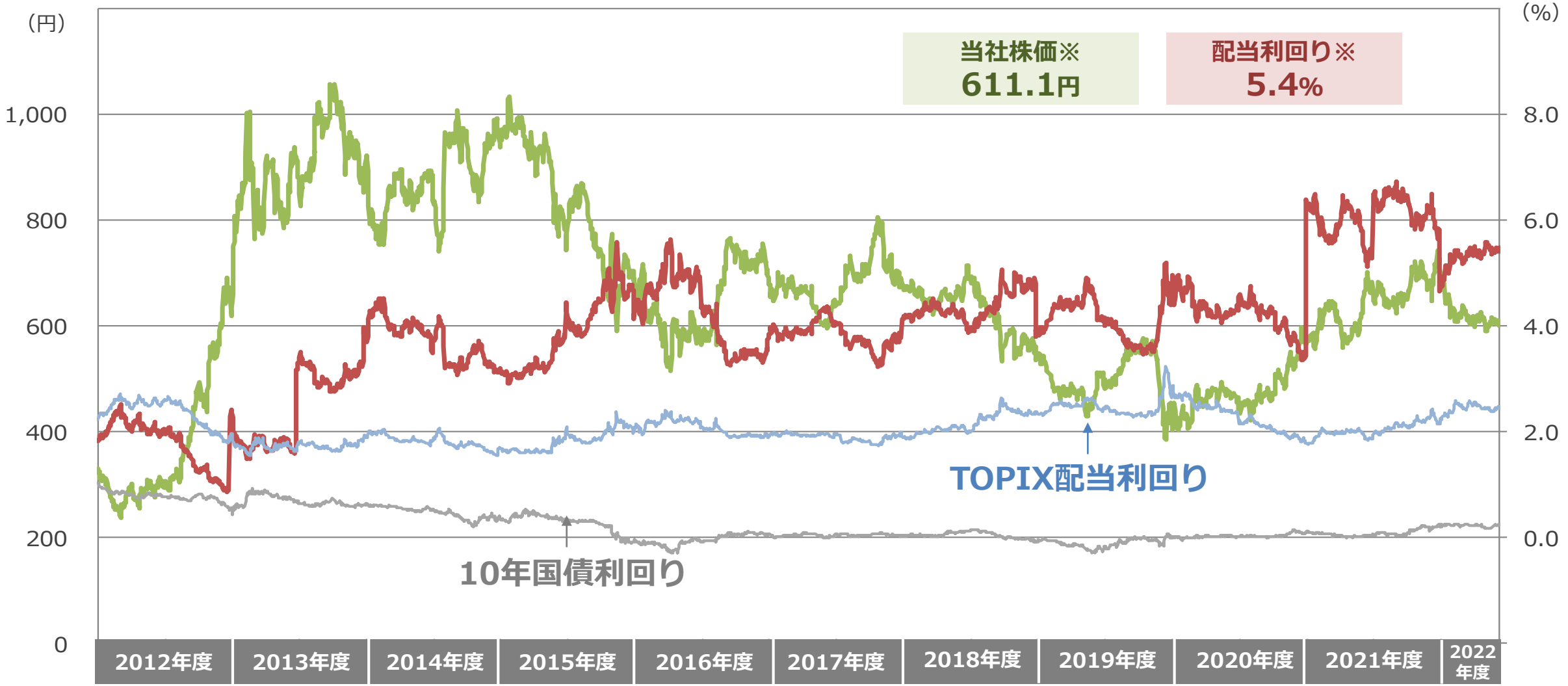
連結業績を反映し半期毎に配当性向50%以上の配当を行う



	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
配当総額	15	34	30	29	26	28	21	20	36	33
1株当たり配当金 (円)	3 中間 / 12 期末	17 中間 / 17 期末	14 中間 / 16 期末	17 中間 / 12 期末	13 中間 / 13 期末	13 中間 / 15 期末	12 中間 / 9 期末	11 中間 / 9 期末	11 中間 / 25 期末	17 中間 / 16 期末
総還元性向*1				58.3%	60.4%	75.2%	106.9%	92.5%	77.6%	78.4%*2
配当方針		30%程度			40%程度			50%以上		

*1　総還元性向は、当年度（当年12月＋翌年6月）の配当総額と当年度の通期決算発表日までに決定した自己株式の取得価額の和を、当年度の親会社株主に帰属する当期純利益で除した値　　*2　取得価額の上限値をもとに作成

配当利回り



（出所）Bloomberg　TOPIX配当利回り、当社配当利回りは年間の配当実績に基づき計算　　※2022年9月8日時点

株主優待制度

PASSION FOR THE BEST

株主優待品カタログから、お好きな優待品をお選びいただける株主優待を年2回実施

保有株式数	選べる優待品	株主優待品カタログ	株主優待品カタログ　掲載例
1,000～2,999株	1点	2,000円相当	  JAL　そばですかい  アサヒ スーパードライ
3,000～4,999株	2点	4,000円相当	
5,000～9,999株	1点	5,000円相当	  うなぎ工房 うなぎ問屋の大五蒲焼  銀座千疋屋 フルーツジュレ
10,000株以上	2点	10,000円相当	

※ 株主優待品は毎回変わります。また、株主優待制度の内容は毎回変わる可能性がございます

株主優待制度の充実

PASSION FOR THE BEST

グループ会社が保有・運営するさまざまな施設でも株主優待をご利用いただけます

高齢者住宅の入居時費用割引

グッドタイム リビング
大和証券グループ

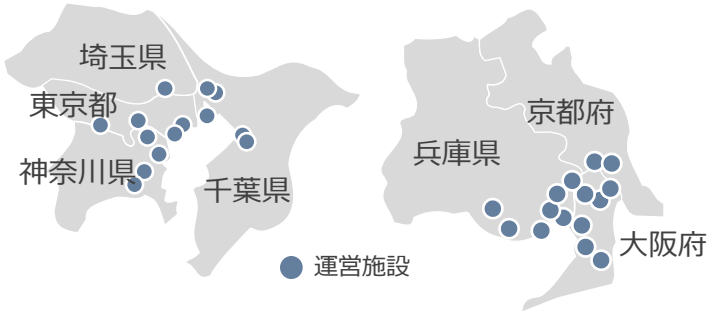
ご優待内容

- 入居時費用から、50万円を割引





首都圏・関西圏　33施設



ホテル・ゴルフ場の割引/優待

大和リアル・エステート・アセット・マネジメント
Daiwa Real Estate Asset Management

大和PIパートナーズ
Daiwa PI Partners

ご優待内容

- ご宿泊料割引
- レストランご利用割引
- ワインフルボトルをサービス

など

全国 19ホテル・2ゴルフ場





＊　有料老人ホーム 『グッドタイム リビング』、シニア向けマンション 『プラテシア』、株主様の三親等までご利用可能

今後のIRスケジュール

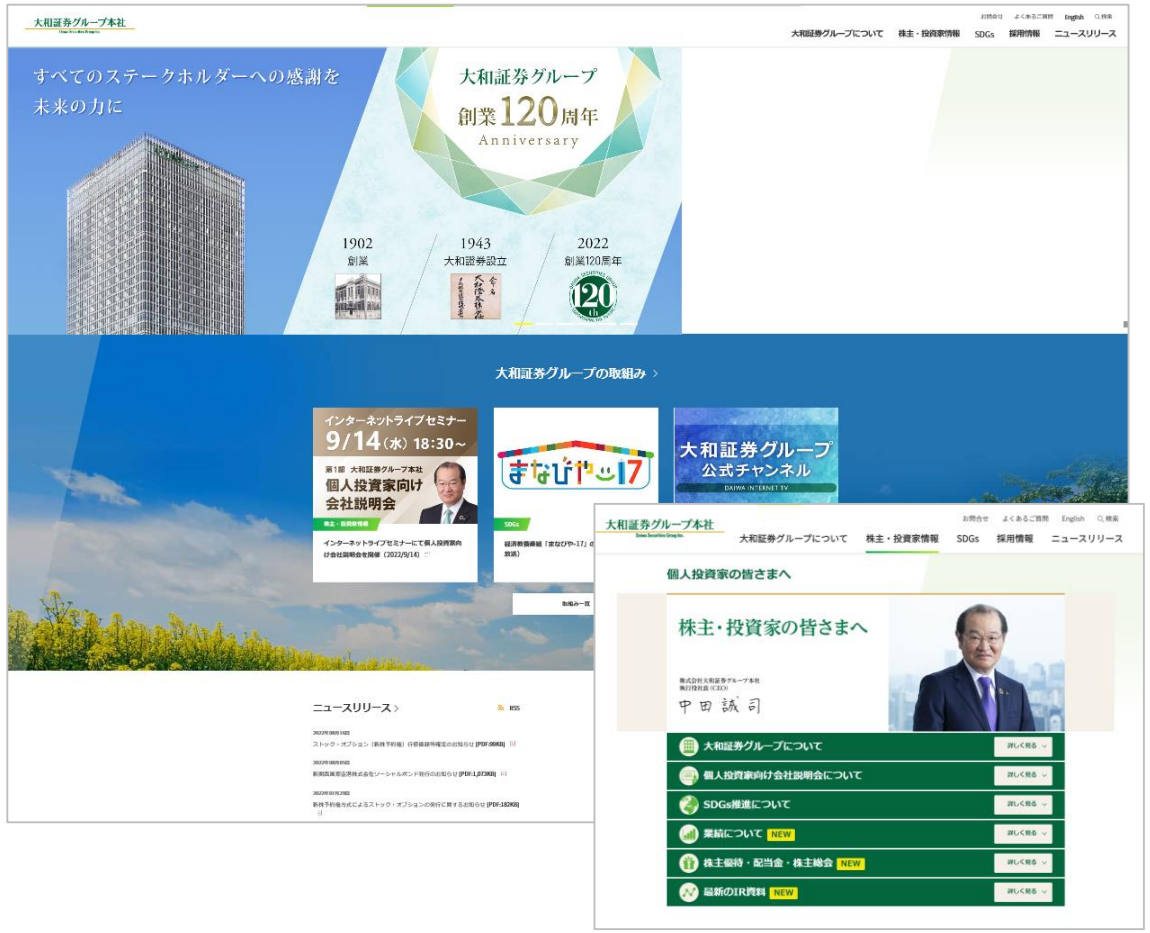
時期（予定）	スケジュール概要
9月28日	権利付き最終日
10月下旬	決算発表（2022年度第2四半期）
12月上旬	期末配当支払・配当通知発送 「株主優待品カタログ」発送
2023年1月下旬	決算発表（2022年度第3四半期）
1月下旬	株主優待品申込締切
3月29日	権利付き最終日
4月下旬	決算発表（2022年度第4四半期）
6月上旬	期末配当支払・配当通知発送 「定時株主総会招集ご通知」（「議決権行使書」同封）発送 「株主優待品カタログ」発送
6月下旬	第86回定時株主総会

株主・投資家の皆さまへの情報発信

PASSION FOR THE BEST

IRウェブサイト

【URL】https://www.daiwa-grp.jp/



大和証券グループ公式YouTubeチャンネル

【URL】https://www.youtube.com/c/DaiwaGroup





ダイワ・セレクション



注目!世界を変える「SDGs/ESG投資」



大和スペシャリスト
レポート

参考資料

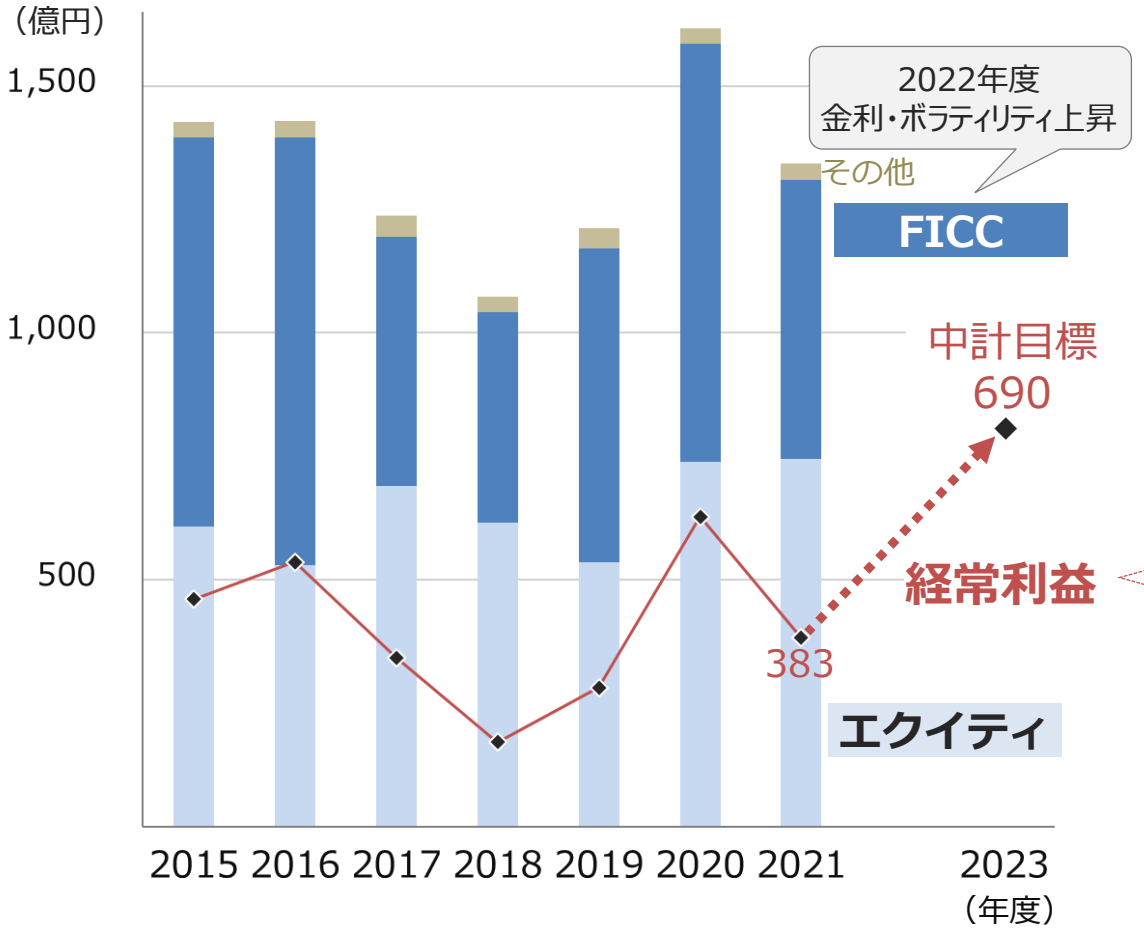
Daiwa Securities Group Inc.

ホールセール部門：グローバル・マーケッツ

PASSION FOR THE BEST

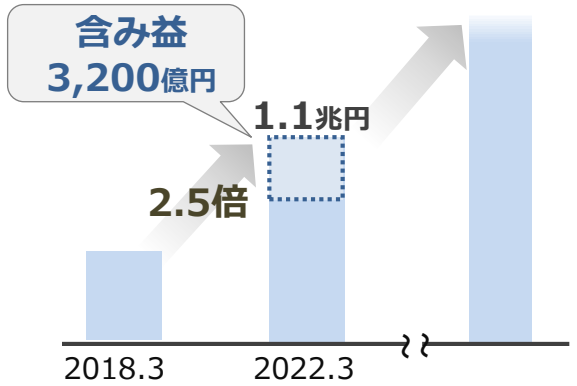
グローバル・マーケッツはお客様フロー、特にリテールのフローに関連する収益が中心
外国株式・デリバティブを中心に、幅広いお客様ニーズに対応

グローバル・マーケッツ 純営業収益・経常利益



リテール外国株式残高の拡大

■ 引き続き外国株を中心とした、国際分散投資を推進



残高拡大に向けた取組み

✓ 米国株カバレッジの拡大
（西海岸にアナリストを配置）

2018年3月	2022年3月末
56銘柄	85銘柄

日本の個人金融資産の外貨建て資産比率



（2021年12月末時点）

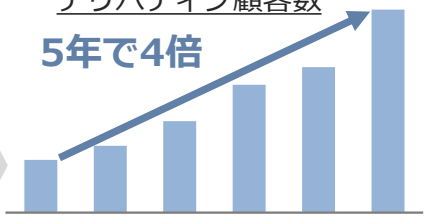
法人向けデリバティブの拡大

■ お客様ニーズに基づくソリューション提案の高度化により、法人顧客基盤の拡大を目指す

外部環境	ニーズ
株価変動 為替変動 金利変動	・為替・金利変動に対するヘッジニーズ ・より効率的な資金運用ニーズ

デリバティブ顧客数

5年で4倍

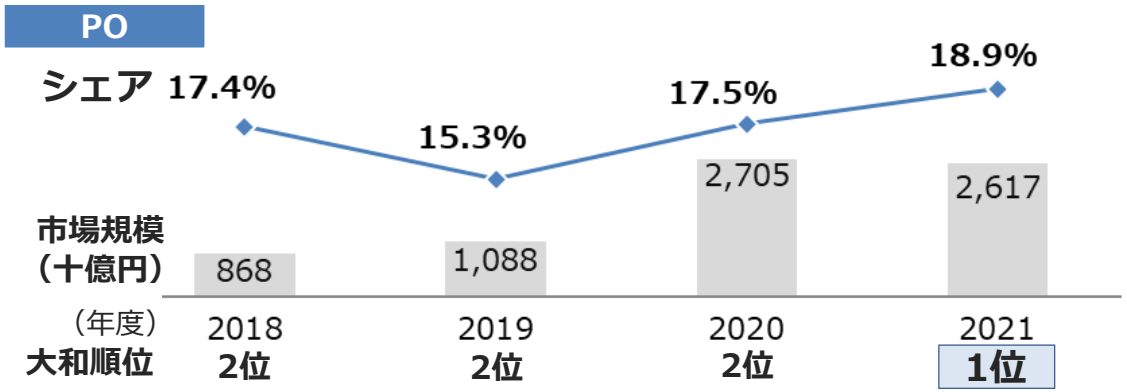


ホールセール部門：グローバル・インベストメント・バンキング

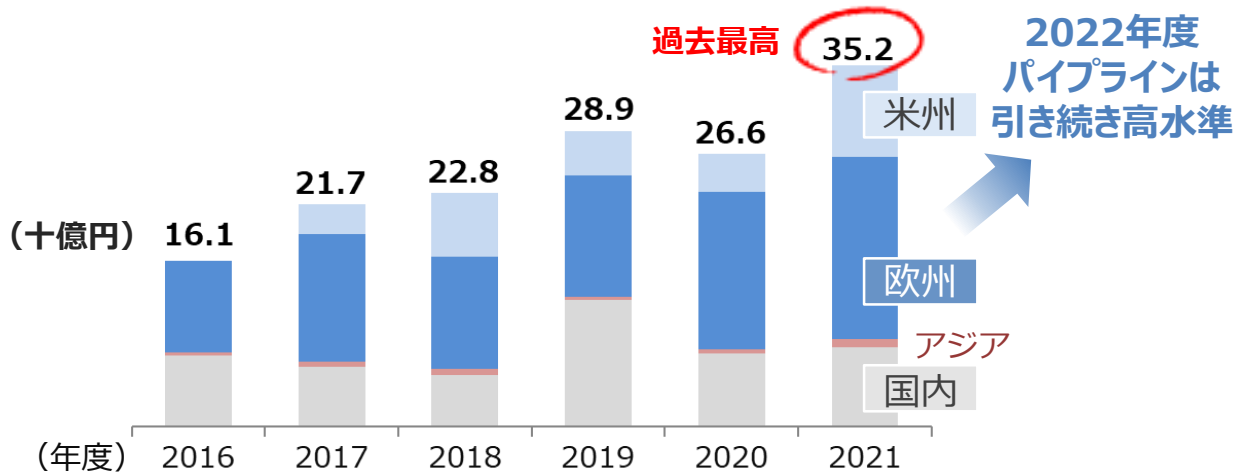
PASSION FOR THE BEST

ECMはマーケットの影響を受けるもののニーズは存在するため、マーケットが落ち着いてくれば回復を想定
M&Aはマーケット環境に不透明要因があるものの現状は豊富なパイプラインを背景に収益拡大を見込む

ECM市場規模、リーグテーブル順位・シェア*1



M&A関連手数料*2



グローバルM&Aネットワークの強化



ミッドキャップM&Aに注力する会社では
トップクラスのグローバル4極ネットワーク

ECM：エクイティ・キャピタル・マーケットの略
株式を発行する際の引受などを担当する業務

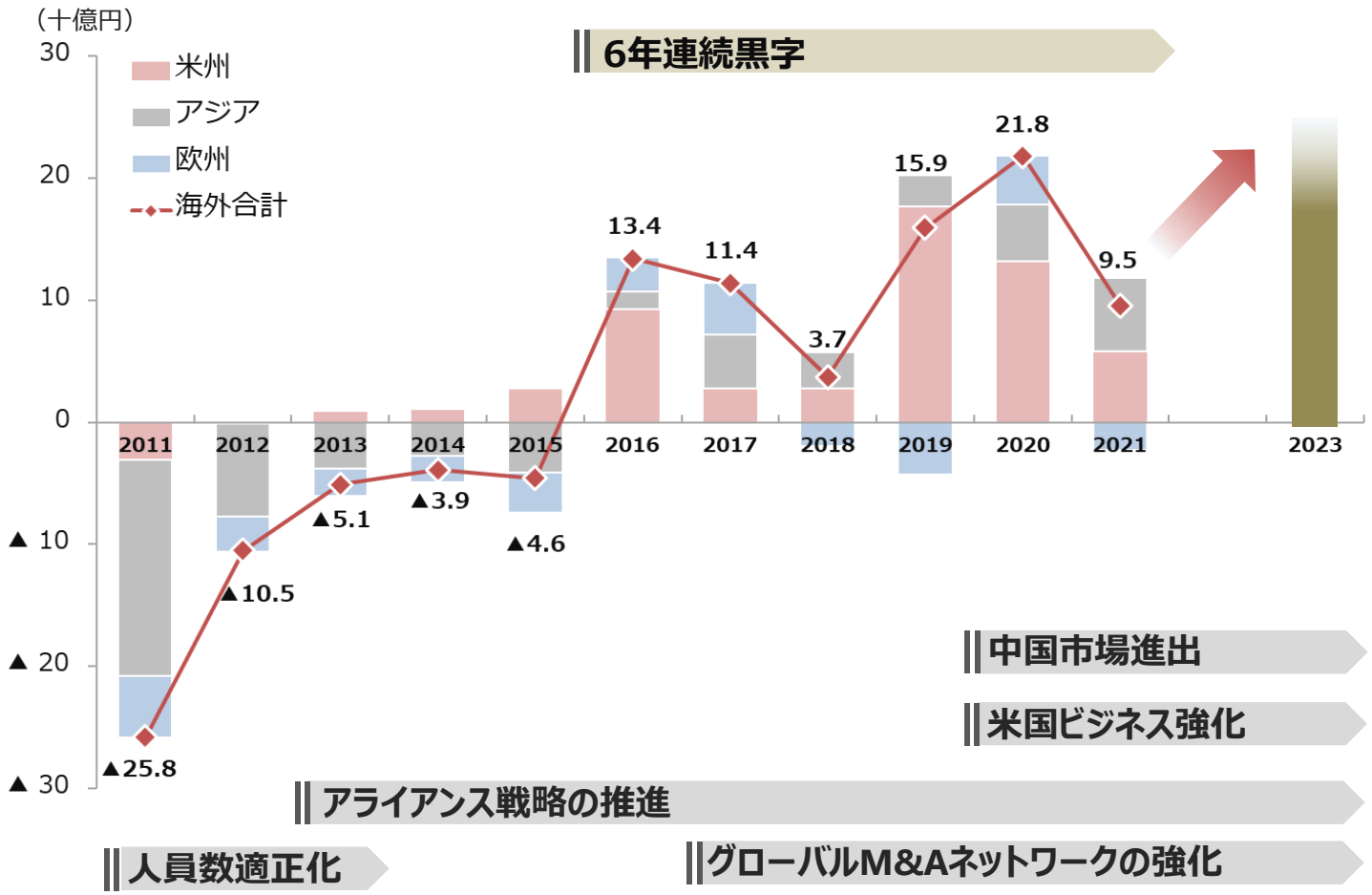
*1 国内外CB、REITを除く。払込日ベース
*2 企業の合併や買収に対するアドバイザリー業務等に係る手数料

海外戦略

PASSION FOR THE BEST

海外ビジネスは、6年連続黒字で合計760億円の利益を確保
引き続き米州が牽引役。堅調なアジアに加え、欧州の収支構造改革による更なる積上げを目指す

海外部門　経常利益



米州ビジネス

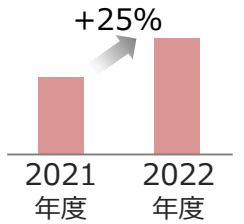
FICC

■ **米国債の国外投資家取引拡大**

エクイティ

■ **米国株・パンアジア株拡大**

米国債の国外投資家収益



欧州ビジネス

■ **収支構造改革に着手**

- ✓ FICC/CBのトレーディングブックを東京に移管予定。2023年度以降に改善効果が本格的に寄与
- ✓ ミドルバックの適正化・効率化

M&Aビジネス

■ **過去最高収益を達成**

- ✓ 2月、DC欧州8拠点目となるDCベネルクスをオランダに設立し拠点網を拡充
- ✓ 再生可能エネルギー分野に特化したGreen Giraffeと連携強化

DC advisory One. Global. Brand.

Green Giraffe The renewable energy financial advisors

参考資料

120周年記念 こどもの未来プロジェクト

PASSION FOR THE BEST

地域社会への感謝と未来を担う子どもたちへの支援を目的に、総額1億2,000万円を寄付する「大和証券グループ120周年記念 こどもの未来プロジェクト」を実施

全国の大和証券 本店・支店109ヶ店が選定する
子ども支援団体へ　1億1,000万円

全国各地341団体に寄付を実施



内閣府「子供の未来応援基金」へ
1,000万円

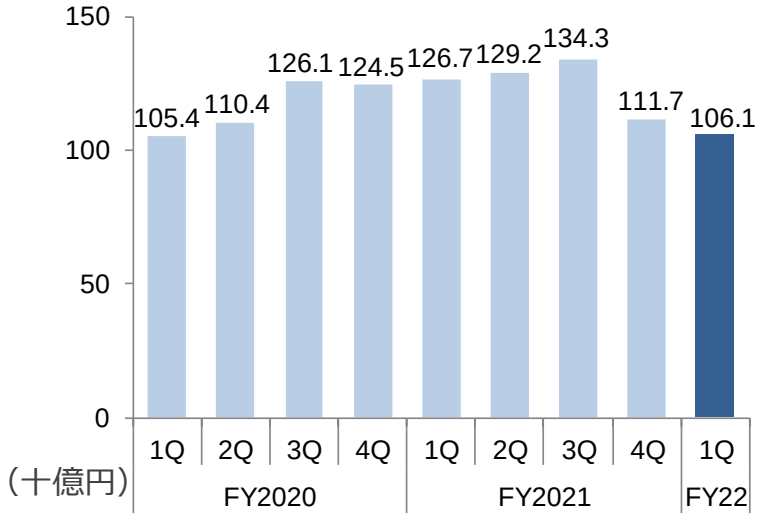


野田聖子前内閣府特例担当大臣（左）に目録を贈呈（2022年5月）

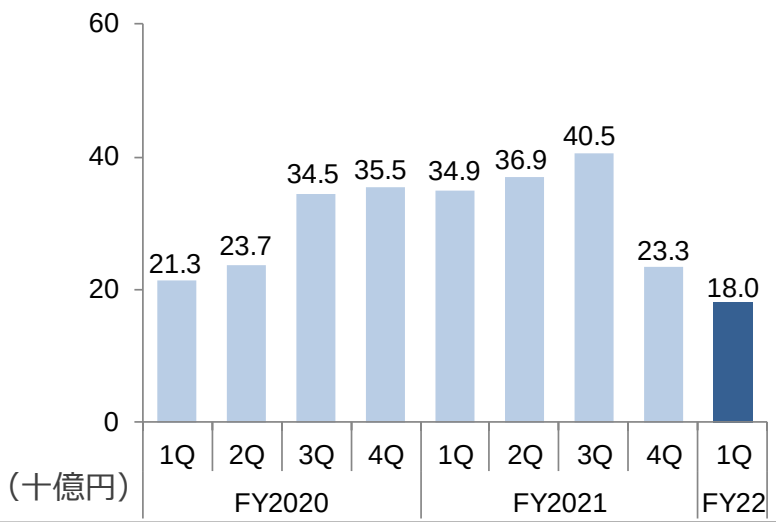
2022年度第1四半期決算概要

グループ連結業績	2021年度累計	2022年度第1四半期	前年同期比	前四半期比
純営業収益	5,020億円	1,061億円	-16.3%	-5.1%
経常利益	1,358億円	180億円	-48.2%	-22.5%
親会社株主に帰属する純利益	948億円	118億円	-49.6%	-34.0%

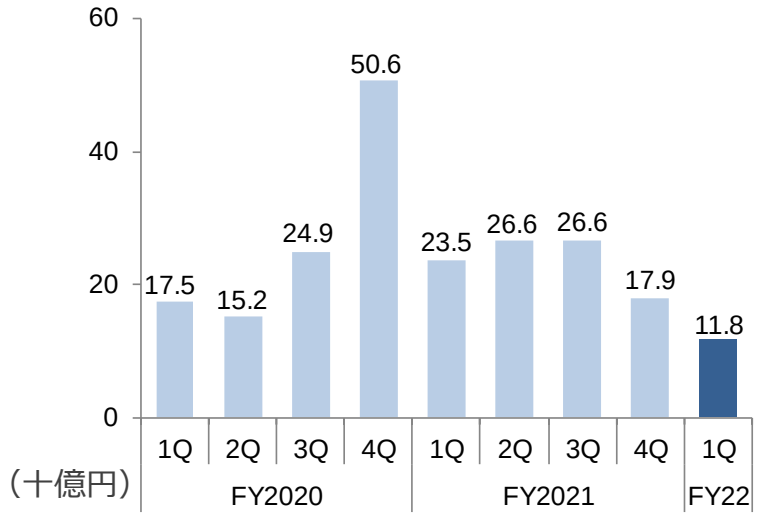
純営業収益



経常利益

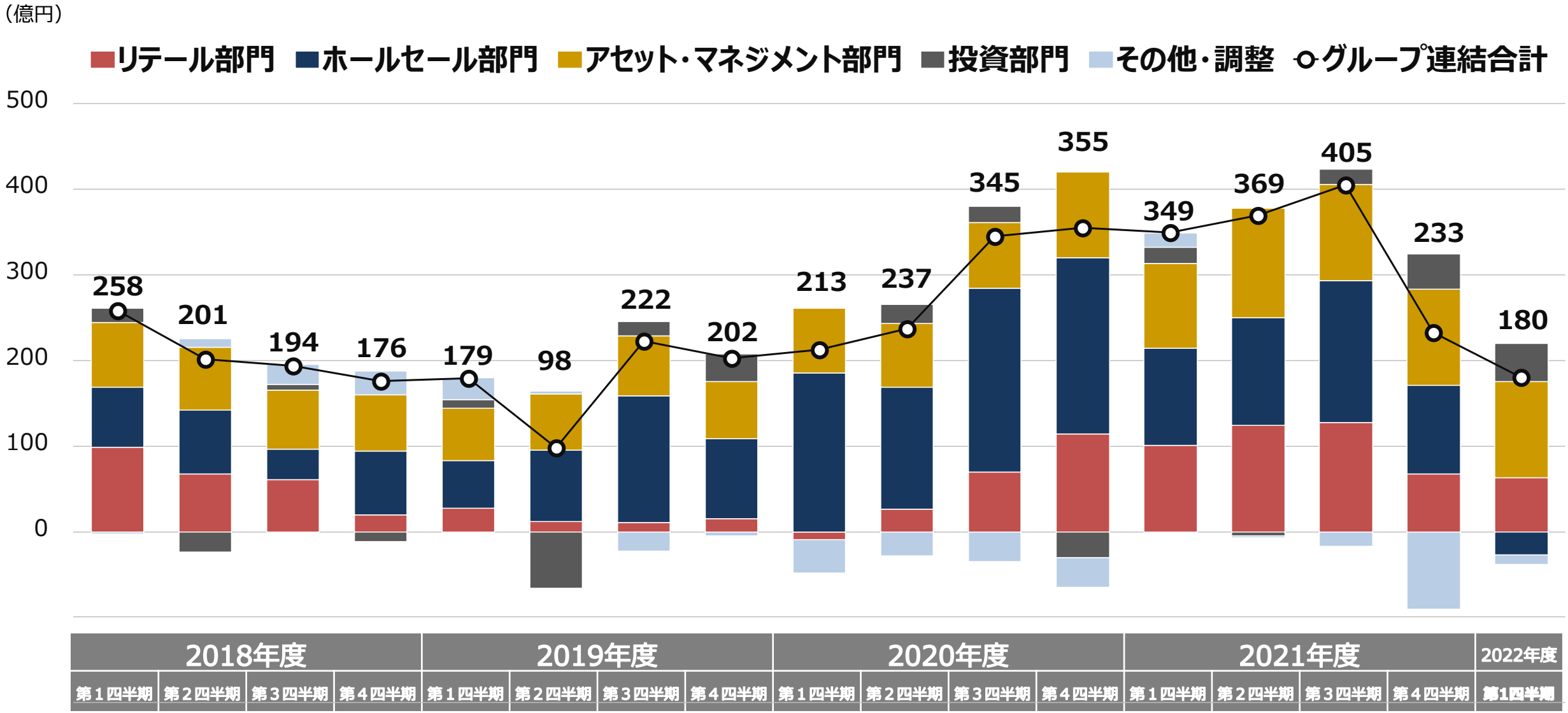


親会社株主に帰属する純利益



参考資料

経常利益の推移





大和証券グループ本社　経営企画部IR室
E-mail: ir-section@daiwa.co.jp
URL: https://www.daiwa-grp.jp/ir/